

「大自然、を愛し理解しよう」

「スカウトの自然研究はこの世界が美と神秘に満ちていることを、より深く知るためにするのであり神が君たちに、そういう世界を楽しむために贈ってくださったのだ」

-B-P-



「幸福への一歩は、君たちが大人になってから役に立つ人となり楽しい生活ができる様に、また少年のうちから自分を健康に強くすることです」

-B-P-

第6回日本ジャンボリーへ浜松地区の精鋭、勇躍出発!!



日本ジャンボリー派遣壮行会 7月21日

第6回日本ジャンボリー、派遣隊員壮行会が7月21日、13時より浜松市住吉青少年の家広場で行われた。

出席者派遣隊員 160名、奉仕隊員13名内田地区委員長以下各団リーダー団委員長多数、来賓として平山浜松市長、浜松ロータリークラブ会長・鈴木嘉修殿、浜松ライオンズクラブ会長・加藤俊功殿、市民委員会委員長・亀井利恭殿のご出席を頂き盛会であった。

内田地区委員長の壮行の辞(別紙参照)続いて平山市長の挨拶…「健康で所期の目的を達成して貰いたい」とのご挨拶の後、浜松ロータリークラブ鈴木会長も「一生懸命やっ貰いたい」と。

浜松ライオンズクラブ加藤会長からは「ライオンズクラブはボーイスカウトの後援をするということが規則にもなっている。各スカウトは名誉のため、一生懸命活動して貰いたい。」との夫々激励のお言葉を頂き派遣隊員一同、名誉を汚さないよう心に誓ったのである。

続いて、ロータリーからは作業備品を、ライオンズクラブからは作業帽等の贈呈がなされ、第6回日本ジャンボリーの歌を高らかに歌って解散した。

尚、本隊は7月29日朝7時、浜松駅を出発して北海道に向った。

壮行会あいさつ

地区委員長

市長さんを始め御来賓の皆様には、御多用中にも拘らず、わざわざ私共のため御出席下さいまして有難うございました。厚くお礼申し上げます。

スカウトの皆さん

第6回日本ジャンボリー参加者として、選ばれた諸君は、団を代表し、地区を代表し、日頃の諸君の立派なスカウト活動が認められた結果として、今回のジャンボリーに参加出来ることになりました。おめでとう。

然し参加したくても、参加の出来なかった諸君の仲間であるスカウトの沢山いることを忘れてはいけません。

浜松地区としては、今迄にない遠い北海道への多数の派遣でありまして、然も今回のジャンボリーは、諸般の事情、きびしい時であり、特に、政治的背景と申してよいのでしょうか。ジャンボリー会場の土地の関係とか、国鉄ストとかいう現実やら、急激な物価の変動とか、まことに厳しい現状の中で開催される日本ジャンボリーでありますので、受入側の北海道連盟やスカウト関係者が総力をあげて奉仕に努力をして、待機しているとのことではありますが、諸君もスカウトとし

内田時世

て、あまえることなくスカウトらしく、自分からの規律と協力とによって全員が無事に、元気で帰ってくることを願っております。



派遣リーダーの皆さん

夫々のお仕事で御多用の中を、スカウトの為に10日間の長い間、御奉仕御苦勞様です。よろしくお願い致します。

参加の皆さん

今回の日本ジャンボリーのテーマ「大自然」に相応しい、日本人の先人が命をかけて開拓した北海道の雄大な自然に接して、スカウトらしい、厳しい中にも、楽しい愉快なジャンボリーを味わって来て下さい。北海道大学を開校したクラーク博士が、かつて残した「Boys be Ambitious」(少年よ 大志をいだけ)と叫んだ有名な言葉があります。Boys be Ambitious!! 此の心情を諸君が少しでも、くみとる事が出来れば幸です。どうぞ元気で行って下さい。

—日本ジャンボリー速報—

「大自然」をテーマに 第6回 日本ジャンボリー 北斗の地千歳原に 雄大に開幕!!

全日本のスカウトが、いや世界のスカウトが待ちに待った第6回日本ジャンボリーが昭和49年8月1日、北海道千歳原で開幕した。

全国47都道府県のボーイスカウト大会関係者26,500人余とアメリカ、インド、オーストラリアなど11カ国の外国スカウトなどの計27,000名が参加。

「大自然」をテーマに6日間にわたって日ごろの訓練の成果を競い合いながら国際親善と友好を深める相互理解の絶好の場が生れることとなった。

1日午後6時半、総理大臣代理・原田郵政大臣をお迎えして開会式は行われた。

代表スカウトのステージパレードが華やかに色をそえ、演技集団入場、日の丸集団1,600、外国旗とつづいて入場。

「友情の鐘」がアリーナを包む。わき上るジャンボリー序曲、雷鳴10発、かがり火へ点火。「連盟歌」の合唱、石坂泰三大会長、日連総裁（代理寺尾一郎副大会長）の開会の宣言がおごそかに行われた。

スカウト代表の決意の宣言、「名誉にかけて」を合唱、原田大臣の祝辞、堂垣・北海道知事による歓迎の言葉。ついで渡辺昭新総長と全国スカウトを代表する県連旗が入場。

全国会議を代表して小林中央審議会議長が総長推薦と新総長のあいさつ。代表スカウトが推薦のよろこびとよろしくを。

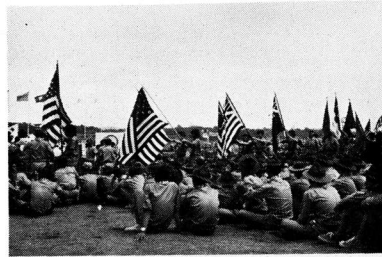
隊旗入場、ついで27,000名の大合唱、第6回日本ジャンボリーの歌は大地をゆるがす思いである。

第2日目のハイライト「友情ゲーム」を初め今回から設けられたバイオニア賞取得種目群の競技が開始された。

少年よ大志を抱け、の文字を組んだ青い日南洋の友が日本スカウトと手を取り合ってゴールへばく進する姿に会場は熱気に包まれ、友情は一層深まった。

第3日目は自主参加プロ、バイオニア賞取得種目のメイ演技にスカウトは、のびのびと過した。

夜は大営火で6N Jは最高頂に達した。

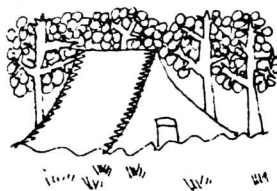


アリーナに集う外国スカウト

昼と一転して厳粛なセレモニーがファンファーレと共に会場を包む。

勇壮な北海太鼓の勇みうちにつれて20余旗の花みこしが乱舞、照明は一段と明るくなり美濃みこしのクライマックスに「やまたのおろち」のグループがステージを狭しと大熱演がくりひろげられた。

4日目は9時より宗教行事、次のコース別の観察旅行が行われた。



Aコース=札幌市内、Bコース=札幌産業、Cコース=支笏湖、Dコース=洞爺湖、Eコース=室蘭、苫小牧産業の各コースに分れた。

その他各種の自主参加、各設営区ごとの小営火が行われた。

5日目は皇太子殿下をお迎えして会場は、はなやぎ、スカウトも一段と燃えた。

皇太子殿下は午前10時に到着され、日本連盟の最高章「きじ章」のレイをお下げになられた殿下は、すぐ中央広場で展示されているバイオニアのスキル・オ・ラマを興味深くご視察なされた。

それから殿下は各野営場を御訪問されいろいろくわしい御質問をされた。

昼のジャンボリー大集会にもご臨席なされ、各ブロックの演技や、札幌婦人会500名による「北海盆歌」を楽しくご覧になられ盛んに拍手をされた。

夜は北海道集団1,600名による松明集団がともされ、その中で名残りの営火に自ら点火され瞬間、かがり火は、若人の情熱と友情が爆発したごとく、パッと真赤に天を突いた。

6日目は最終日、この日は遂に雨となったが閉会式は予定通り行われ、「大自然」をテーマに北斗の地に雄大に、くりひろげられた第6回日本ジャンボリーも名残り惜しくも、こゝに幕を閉じ、雨の中を撤営し、各隊毎にそれぞれ、ふるさとに向けて帰って行った。

スカウトに「大自然」のありがたさを教え、探究心をかりたてさせ、開拓精神を奮起させてくれた千歳原よ、そして地元北海道を初めとした関係各位の御尽力に感謝しなければならない。

現地からの便り 内田 嘉一

その一

三指、7月27日夜、浜松発28日正午千才空港着、会場に直行して先発隊の業務について20名が本隊向入れの準備にかかって、第1隊が29日午後、最後が31日夕で、全員が漸く集結完了。毎日1回以上は雨、31日には落雷、水不足で困って居た北海道に恵みの雨で道民は大喜びです。浜松勢は全員元気、林の中の恵れたサイトの中で四ヶ隊が協力し合って設営し、31は全員で観察旅行に参加しました。今朝（8月1日）始めての全員揃っての朝礼でした。配給も始まりました。そして今日午後の開会式に備えての設営の強化と休養です。今日は快晴、濡れたものの乾燥も十分、楽しいジャンボリーの開始を前に満を持して居る体勢です。

三輪（広報担当）も元気に廻って居ます。忙中取敢えず上記迄。

その二

慌しいまゝ、今日は8月3日です。浜松の大風が毎日、上空に上って会場内を楽しませて居ります。

浜松の指導者の皆さん、他方面に亘って大活躍をして居ります。

昨日は寒くて本部では、たき火をして居ます。少年達は元気にかけ廻って居ます。海をへだてた北海道のジャンボリーの規模は朝霧と大変異って多少マゴツイで居ますが漸く落ち着いて来ました。到着するまで全く雨のなかった千才原が連日の雨や霧で、太陽が欲しくなりました。

今晚は大営火、眼前のアリーナが、さぞかし賑うことでしょう。乱筆ながら中間報告まで

浜松地区派遣隊の行動

7月29日7時04分、多数の家族及び関係者に見送られて浜松駅出発。

東海道線にて東京へ、常盤線経由、夜11時青森着。

7月30日、0時14分青函連絡線にて津軽海峡を横断、4時函館に上陸、念願の北海道の大地に是を踏みしめスカウトの意気あがる。

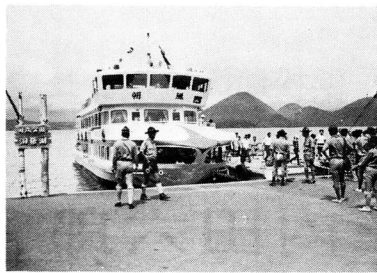
室蘭本線に乗って7時58分苫小牧に到着し、それから千歳原の野営地に於て各隊設営を開始する。雨に大いに悩まされたが全員協力し合って順調に設営を終える。

7月31日は観察旅行に出かける。洞爺湖、昭和祈山のDコースをとった、Dコース組は天候に恵まれたが、千歳原は再び雨に悩まされた。

8月1日より5日までは前述のスケジュールに従って、毎日が追いまわられる状態がつづく。

特に今回設けられたパイオニア賞制度のため、スカウトは朝早くから起きてやらないと間に合わない位である。

また行事に出演するためのリハーサルや本番のために、つい時のたつのも忘れてしまう。



洞爺湖にて

このパイオニア賞の趣旨は、かつて北限の大地(えぞ地)に開拓の斧をふるった幾多の先人の雄々しく、たくましい開拓者の精神をしのび、また勇敢にきびしい自然に立ちむかった不斗不屈の斗魂をたゝえ、クラーク博士の「少年よ大志を抱け」の言葉に表現されるようなスカウトの明日への雄飛を期待されているものである。

そして取得出来た科目について朝礼で受賞式をやり、パイオニア賞記念メダルが与えられた。

8月6日は最後の閉会式はまた雨天となってしまったが、地区派遣隊は後のス

ケジュールの関係もあって、閉会式に出場をとりやめ撤営に着手する。

野営場を10時頃出発、札幌を14時48分発、19時25分函館着、20時45分青函連絡船に乗船、8月7日、0時20分青森発帰路につく。

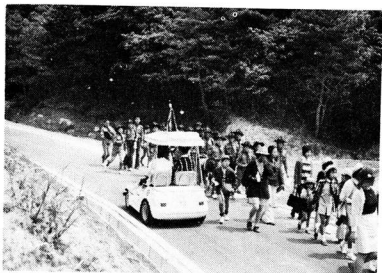
手配の行きちがいのため満員列車で席はなく、こゝでも大いに鍛えられてしまったが予定通り8月7日17時58分全員、元気で浜松駅に帰着することが出来た。



どうやって料理しようかな

「浜北第1団」から

◎創立10周年記念 春のリクリエーション大会を「つま恋」にて挙



浜北第1団も創立以来本年を以て、満10周年となるので、何か有意義な行事をしようということで計画していたところ、たまたま本年5月1日掛川市にオープンされたスポーツランド「つま恋」に於て春のリクリエーション大会を開くこととなった。

5月6日薫風と青空のもと、浜北第1団のボーイ、カブスカウト全員と父兄及びリーダーと同行したガールスカウト静岡第22団の団員及び父兄とバス3台に分乗して掛川市港水の「つま恋」に向った。

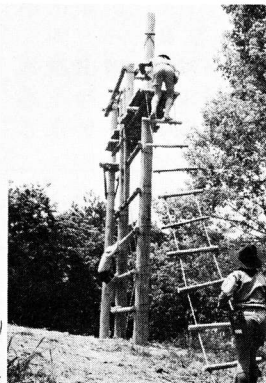
当日は子供の日としていろいろの行事もあり、各スポーツ設備も結構にぎやかであったが我々の目標は冒険の森である。

こゝでカブスカウトのボーイ隊の上申式を行った後、冒険の森のいろいろの設備を利用して大人も子供も一諸になつて

自然の中で楽しく遊んだ。

丸太で組んだやぐらの上に登ったり、ロープを滑車にブラ下って走ったり、ブランコしたりスカウト達の顔は実にイキイキとしてうれしそうだ。

きれいな空気のもと、昼食をした後各班自由行動をとり、ガールスカウトはNHKの体操のおにいさんとフォークダンスをしたり、軽スポーツ広場や馬場、テニス場、アーチェリー、エキジビジョン



ホール、つり池、スポーツマンズクラブ等の諸施設を見学したり、サイクリングで楽しんだりして無事終了して夕刻帰浜することが出来た。

「つま恋」も未だオープンしたばかりで、その利用の方法についても研究不足の点無きにしてもあらずではあったが、天候に恵まれ、自然を生かした素晴らしい設備のなかで、団員父兄リーダーが一同に会しての今回の催しは良いコミュニケーションの場となり、実に有意義であった。

◎カブ隊天竜厚生会老人ホームを慰問と清掃奉仕を実施

浜北第1団カブ隊は5月26日布施隊長指導のもと団委員長も参加して天竜市厚生会の老人ホームを慰問し、隊員や父兄の善意の品々を贈ると共に、草取りや清掃奉仕を実施した。当日は天候もよく割あてられた場所の作業は順調にすゝみ帰るときはきれいになった姿に全員心よい満足感を味わうことが出来た。奉仕のことは実際に体験することの出来た一日であった。





残暑御見舞申上げます



<p>名誉役員 浜松市長</p> <p>平山博三</p>	<p>浜松地区協議会長</p> <p>内田六郎</p>	<p>浜松地区委員長</p> <p>内田時世</p>
<p>名誉役員 可美村長</p> <p>太田 保</p>	<p>可美第1団副育成会長 可美村教育長</p> <p>中村道男</p>	<p>可美第1団</p> <p>S B C 副団 副育 S S S 副隊 副委員 副成 隊長 隊長 隊長 隊長 隊長</p> <p>良太庄杉山古友山島中李太 知田古山本橋田中村屋田 三 文恵導重文洋賢道禎浅 夫進子子子子哉一司男一</p>
<p>浜松第20団</p> <p>団委員・リーダー 一同</p>	<p>浜松第1団</p> <p>副団育 副団育 副委員 副委員 隊長 隊長</p> <p>鈴木佐広井間柴河増川渡一齋吉飯 木野藤木ノ宮田原上田辺同 齋木島 ふ益成口智政 恭文年 誠正政 み枝子孔子子 薫敏久雄啓 二道次</p>	<p>浜松第14団</p> <p>副育 副育 副育 副委員 副委員 副委員 隊長 隊長 隊長</p> <p>一安富 松下 小林 小笠原 滝川 齋藤房太郎 片山ふさ子 外山 房子</p> <p>同 正光 英夫 博 勇 卓幸 太郎 子</p>
<p>浜松第21団</p> <p>C S 一同 B S 一同</p>	<p>浜松第18団</p> <p>育成会長 植田 甚 団委員長 伊熊 正治 団委員 一同 S S 隊長 増田 辰雄 B S 隊長 伊熊 安雄 B S 隊長 福世 正志</p>	<p>浜松南部ブロック担当 副コミッショナー</p> <p>井ノ口泰三</p>
<p>浜松第11団</p> <p>いつも元気 遠鉄ボーイスカウト</p>	<p>浜松第19団</p> <p>監組健康野進財副団育 組織康安安全歩導者政委委成 B S C 拡張事行事業成委員員會 副副副副副副副副副副副副副副 隊長隊長隊長隊長隊長隊長隊長隊長</p> <p>井平庄鈴八鈴小山椅竹山塚藤混鈴久野鈴牧 田賀司木木木木木木木木木木木木木木木木 伸 本 昭 美 俊 真 豊 太弘春健忠げ 昭 輝 俊 真 豊 郎齊雄郎夫子登沈二夫孝清恒策一力治護健</p>	<p>浜松第10団</p> <p>夏に鍛えよう</p>

ボーイスカウト基本動作・礼式の基準

私たちに「スマートネス」ということばがあります。
 スカウトたちのスマートに着こなしたユニフォーム姿、そして彼らのスマートな行動は、見る人の心をさわやかにすることでしょう。
 日本連盟では、スカウトのスマートな身ぶるまい、とりわけ集団行動のさいの動作の基準となる「基本動作と礼式の基準」を昭和42年に制定し、試行期間を経て実施しています。

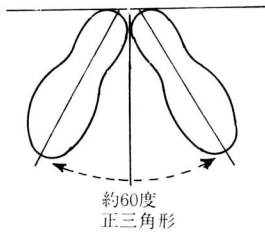
ここにあげるものは、これまで指導者研修所や実修所などを通じて普及につとめてきたもので、今後さらに研究が進められて、これらに続く各種の基準が示されることになります。まずスカウターから範を示し、実行してほしいと願います。

【停止間の動作 1. 姿勢】

(1) 気をつけ

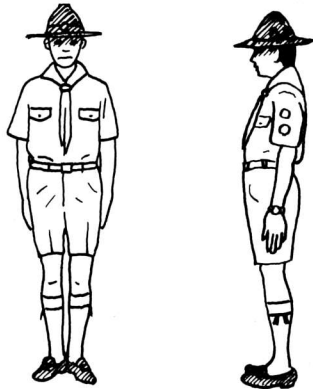
〔動作の方法〕○両かかとをつけて一線上にそろえ、つま先は自然に開く。○両ひざ、背すじを伸ばして直立姿勢をとる。
 ○両腕は、体側にそって、ひじを伸ばしておろす。○手のひらは指をそろえて軽くのぼし、中指をおおむねズボンのぬい目にあてる。○あごをひき、頭と首をまっすぐに保ち、口をとじ、目は正面をまっすぐにみる。

◎合図・号令 (号笛)
 「気をつけ」



規律、それは人の行為のよりどころとして常に正しくわきまえられなければならないものです。
 これは、精神面から考えれば、スカウトの自発活動のルールともいえるでしょう。

「気をつけ」



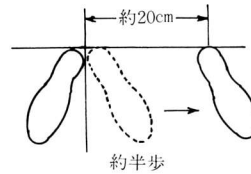
(留意点)▷胸を張り、両肩は力を入れずに均等におろす。
 ▷体重は両足に平均にかける。▷つま先は等分に開き約60度になるようにする。

(2) 休 め

ア. 休 め

○左足を半歩左へ活発に開き、両ひざを軽くのぼし、体重を両足に平均にかける。同時に手は後でベルトの上に組む。○手のひらは後にむけて開き、左手の親指と四指で右手を軽く握る。
 ○「休め」の合図または号令で、まず整列休めの姿勢をとり、その後は、手を体の後(尻)または前で組む。○足は動かしてもよいが、片足は、常に元の気をつけの姿勢の位置におく。許可がないときは、話をしてはならない。

◎合図・号令 (号笛)
 「休 め」

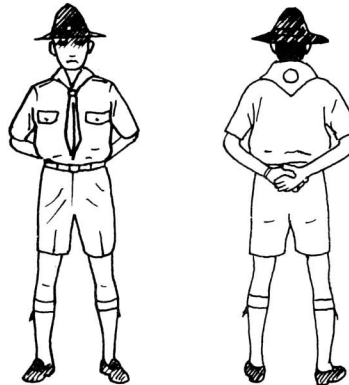


イ. 腰をおろして休め

○腰をおろし、両かかとをそろえて地床につけ、両ひざをそろえて軽く曲げ、ひざのや・下方で、ひざがしらをかかえこむように手を組む。

◎合図・号令 「すわれ」

「休め」



(留意点)▷話をしたり動いたりしてはいけない。▷通常、儀式のときなどに用いる。▷上体は基本の姿勢のままである。

「すわれ」



(説明) 腰をおろして休め。(留意点) ひじや肩の力をぬき3本の指先に力が入っていること。

「敬礼」



(2) 立 礼

〔動作の方法〕 ○気をつけの姿勢で、受礼者に正対してから、上体を約30度前に傾ける。○いったん止めた後、しずかに上体を起こす。○帽子を持っているときは、右手に前ひさしをつまみ内側をももに向けて垂直に下げ、左手は、ももにつけてたれる。

◎合図・号令 「礼」

(留意点)

- ▽受礼者に正対したとき、相手の目を見る。
- ▽上体を傾けるとき、背が曲がらないようにする。このとき視線は自然に床におちるようにする。
- ▽会釈のときは、上体を約15度前に傾ける。

(3) 姿勢を正す敬礼

○不動の姿勢をとって行う。○着席したままで行うときは、そのまま姿勢を正す。○「なおれ」の合図または号令でもともどる。

◎合図・号令

「気をつけ」 —— (号笛)

(留意点)

- ▽作業中のときなどに、とくに敬意を表する必要があるときに行う。(国歌演奏、来賓を迎えるときなど)

〔停止間の動作 2. 敬礼〕

(1) 拳手の敬礼

○姿勢を正して受礼者(受礼点)に注目し、スカウトサインと同じく、右手で三指を作り、人さし指と中指の間を右眼の右上と帽子(正帽)のひさしとの交差点付近になるように、たなごころをや、左方に向けて、軽快にあげる。○ひじは、肩の方向にほぼその高さをひとしくする。○つばのない帽子(副帽等)または、無帽のときは、前額部に人さし指の先が触れる程度にする。○手のあげおろしは、最短距離をとるようにする。

◎合図・号令 「敬 礼」

スカウトは、パレードをやるのが目的ではない。しかし、もしパレードをやることがあれば、他のどの団体よりもスマートであるはずである。 —B-P—

(2. 敬礼のつづき)

「礼」



〔停止間の動作 3. 方向変換〕

(1) 右(左)への方向変換

1. 左(右)かかとと、右(左)つま先をわずかにあげ、左(右)の足の指のつけ根のふくらみに力を加え、右(左)かかとで、右(左)へ90度回転する。

(第1挙動)

2. 左(右)足を、右(左)へ引きつける。(第2挙動)

◎合図・号令

「右(左)向け——右(左)」

(2) 後ろへの方向変換

1. 右足を約1足長斜め後ろ(右足の向いている方向)に引く。

2. 両足のかかたとを軸にして、180度右に回り、後ろに向きをかえる。

3. 右かかとを左かかたとに引きつける。

◎合図・号令

「回れ——右」

(留意点)

- ▽右足を引く場合、体重が前に残らないようにする。
- ▽右足先は、わずかに左かかたとから離れるように引く。

【行進 1. はや足（歩）】

○「進め」の合図または号令で、左足から踏み出す。○上体を自然に起こし、腰とひざを伸ばし、足はかかとからつくようにする。○腕は前後に自然にふる。○頭は起こして前方を見る。

◎合図・号令

「へ——進め」—— — (号笛)

(留意点)

- ▽足先は、まっすぐ進行方向に向けて歩く。
- ▽手は、前へおおむね30cm、後ろへ15cmくらいになるようにふる。
- ▽歩幅は約70cm。
- ▽歩数（歩調）は1分間 120歩。
- ▽歩調（足なみ）がちがっているときは、ツー・ステップの要領でそろえる。

【行進 2. はや足停止（歩の停止）】

○「止まれ」の合図または号令で、1歩前に踏み出し、次の足を引きつけて止まる。

◎合図・号令

「全体——止まれ」—— — (号笛)

(留意点)

- ▽かかとをそろえ、足先を開いて止まる。

【集 合 1. 集 合】

○集合の隊形は、とくに指示するもののほかは、通常、手の合図によるものとする。○指揮者は集合の合図をしたのち、ただちに隊形を示す手の合図を行う。この場合、必要以上に長く行わない。

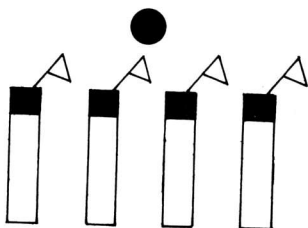
◎合図・号令

「集まれ」—— — — — (号笛)

(留意点)

- ▽指揮者の位置—指揮者は、通常、隊（班、てい団）の指揮掌握および訓練にもっとも適切な位置で指揮を行う。

(1) 縦 隊



○班ごとに1列縦隊の隊形をとる。○最右よく列の先頭（通常班長、1番員）は、すばやく指揮者（隊長）の前6歩の距離をとって定位置につく。その他の列員は、これを基準として、正しく距離をとって縦隊を作る。○隊員は基準列員を基準として正しい間隔をたもつ。○最前列の隊員は各個に間隔を規正するために、左手をあげてならうが、この際、後列の者は、前列の者にならった後、右方に整とんし、右方に整とんが終われば、右よくから手をおろす。

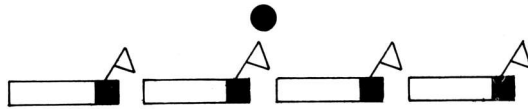
◎合図・号令

「班縦隊—集まれ」「○列縦隊—集まれ」

(留意点)

- ▽前の者との距離は約1mとする。

(2) 横 隊



○班ごとに1列横隊の隊形をとる。○集合の際は、最左よく者を除き、左手を腰にあてて、短間隔をとる。四指をそろえてのばし、手のひらを下にして親指と他の四指の間に腰をはさみ、手首を軽く下げ、右の者にわずかにふれるまで間隔をとり、これにならう。○ひじは体と一線になるように外側に張る。○その他は、集まれと同じ。

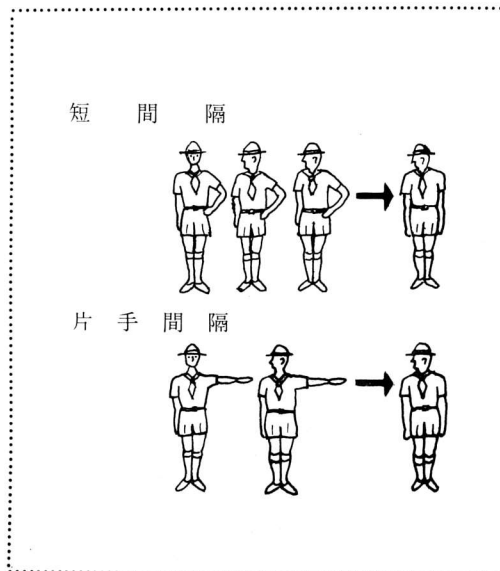
◎合図・号令

「横隊に——集まれ」

(留意点)

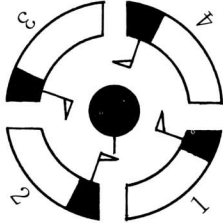
- ▽通常、横隊に整列するときは、短間隔をとる。

□片手間隔（集合(2) 横隊(1)短間隔のつづき）



〔動作の方法〕○左腕を肩の高さに水平に上げて、手のひらを下に向け、指をそろえて伸ばす。○各員は最右よく者を除き、頭を右に回し、自己の右肩先が右の者の指先とわずかに触れるようにならう。○最右よく者を除き、各員は正しい間隔をとり、右にならったならば、直ちに、号令を待つことなく、右の者から逐次腕をおろし、頭を正面にもどす。この際、最右よく者は、前方を直視したままである。

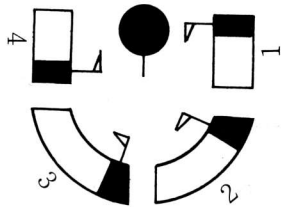
(3) 円形



○指揮者を中心に、そのまわりを各班1列、内側を向いて正しい円形をつくる。○整列のしかたは横隊に準ずる。

- ◎合図・号令
「円形に一集まれ」

(4) 馬てい形



○指揮者の位置より、やや前方で、各班1列、内側を向いて、馬てい形をつくる。○整列のしかたは、横隊に準ずる。

- (留意点)
▽馬てい形は、指揮者側に口を開く形をとる。

〔集 合 2. 整とん〕

(1) 縦 隊

○各員は、前の者との距離を約1mに保ち、前にならう。○整とんが終われば、「なおい」と号令する。この号令で、全員不動の姿勢にもどる。

- ◎合図・号令
「前へ—ならえ」
(留意点)
▽前に重なるときは、常に首すじと背すじをまっす

ぐに保ち、前の者の後頭部をみて、さらに、ひとり前の者の頭がみえないように、左右に小さきぎみに移動して重なる。

(2) 横 隊

○号令で、左よくの者を除き、全員が左手を腰にとり、最右(左)よくの者を除き、全員頭を右(左)へ回して右(左)隣の者にならう(片手間隔のときは、左腕を上げる)。○整とんが終われば、「なおい」と号令する。この号令で、全員不動の姿勢にもどる。

- ◎合図・号令
「右(左)へ—ならえ」
(留意点)
▽右にならうときは頭を正しく右に向け、右隣の者の胸と基準者の胸を見通すようにする。

〔集 合 3. 番号〕

〔横隊のとき〕○予令で、最右よく者を除き、全員頭を右に回す。動令で最右よく者は、頭を正面に保ったまま「1」という。各員は、右から左へ順次自己の番号を呼称しながら、頭を正面にもどす。

〔縦隊のとき〕○先頭の者から、各員番号を呼称しながら、頭を右に回し、次いで元にもどす。

- ◎合図・号令
「番号—はじめ」

〔集 合 4. 開 列〕

(1) 両手距離・間隔に開く

○基準者は、その場で手を肩の高さにあげ、真横にのばす。基準列は、後ろにさがりながら両手の距離(腕の2倍の長さ)をとる。基準列以外の先頭の者は、かけ足で外側、真横に開き、頭を基準者側に回しながら両手を真横に上げ、間隔をとる。○各列の2番以下の者は、両手の距離、間隔をとり、前と横にならう。

- ◎合図・号令
「○○基準、両手距離・間隔に一開け」
(留意点)
▽「○○基準」の合図で、基準者に右手を高くあげさせるよよい。
▽もとの隊形に集めるときは、「もとの隊形に集まれ」と号令する。
▽少年隊以上では、基準列および各列の先頭以外の者は、目測で前・横に整とんさせてもよい。

(2) 片手距離・間隔に開く

○基準者は、その場に位置する。基準列の者は、後ろにさがりながら手を前にあげて片手の距離をとる。○基準列以外の先頭の者は、外側、真横に開き、頭を基準者側へ回しながら、基準者側の片手を真横にあげ、間隔をとる。○各列の2番以下の者は、片手の距離、間隔をとり、前と横にならう。

◎合図・号令

「○○基準、片手距離・間隔に一開け」

〔解散〕

○隊員は、指揮者に対し、各個の敬礼をしてわかる。この場合、次の作業等に向かって、軽快に行動する。

◎合図・号令

「わかれ」

(留意点)

▽敬礼後は、各個勝手に別れるのではなく、班長の指示を待つて統一ある行動をとる。待

をする。○帽子を右手にとって持ち、発声者の「いやー」で、右足を体の後方にひくと同時に、右手を後方へふってかまえる。○目は受礼者または正面を見る。○「ーさか」で右手(帽子)を勢いよく頭上にふり上げる。○最後の「さか」で、右足を左足にそろえて元の姿勢にもどり、帽子をかぶる。○左手は体側にそえ、自然にふるまう。

◎合図・号令

「いやーさか」(3回くり返す)

(留意点)

▽受礼者に相対するのではなく、斜めに対することになる。

▽3回目は最も大きく動作、発声する。

—おわり—

〔いやさか(弥栄)〕

(本文は内田地区委員長の要望にそって「スカウティング」

より転載させて頂きました。)

○発声者が発声の位置についたら、各員は「いやさか」の用意



大会日程・日課およびプログラムの大綱

日	課	時刻	7/30(火)~7/31(水)	8/1(木)	8/2(金)	8/3(土)	8/4(日)	8/5(月)	8/6(火)~8/7(水)
炊事係起床 全員起床 朝食 国旗掲揚		5:30 6:00 7:00 8:30				(インターナシ ョナルディ)			
午前の活動		9:00 11:00	設 営	設 営 完了 (手続き完了)	観察旅行 9:00	観察旅行 9:00	9:00		撤 営
昼休	食 い	12:00	開 場		友 情 ゲ ー ム 11:00	自 主 参 加 事 行	宗 教 行 事 10:00	自 主 参 加 事 行	自 由 交 歓
午後の活動		13:30 17:00	設 営 受 入 開 始				友 情 訪 問 観 察 旅 行		11:00
夕 食 降 納		17:30 18:00							閉 会 式 12:00
夜の行事		19:00 21:00			自 主 参 加 事 行	自 主 参 加 事 行	行 自 主 参 事 加	友 情 の 広 場	13:30 15:30 大 集 会 (全 体)
消 灯		22:00							撤 営
				18:30					閉 場
				開 会 式 (全 体) 20:30	自 由 交 歓	大 営 火 (全 体) 21:00	自 由 交 歓 又 は 小 営 火	ス カ ウ ト フ ェ ス チ バ ル 名 残 の 営 火	
								18:50 20:20 (全 体)	

※本表は都合により若干変更されることがある。

自主参加行事（選択プログラム）種目

種目	種目名	種別	開催区分												対象	場所	制限人数	申込単位	申込	バス料金	大 要				
			2 AM	2 PM	3 AM	3 PM	4 AM	4 PM	5 AM	5 PM	6 AM	6 PM	7 AM	7 PM											
A	信 仰	T														全	会場 全域		個 人				4日の宗教行事に参加する。		
B	ディスカッション	T														全	各隊サイト		班・隊					班・隊ごとの討議、テーマ自由。	
C	公 共 奉 仕	T														全	全 域		班・隊					班・隊共同で公共奉仕作業、又はGHQ行事演出委員として奉仕。	
D	D-1 友 情 ゲ ー ム	S	○													全	会場 全域		個 人	野宮区ご とに指示				友だちつくりのワイドゲーム。	
	D-2 接 待	T														全	各隊サイト		班・隊					交歓行事を企画し接待役をつとめる。	
	D-3 スキル・オ・ラマ	S	○	○	○	○										全	中央広場	有	個人・チーム	5月31日 まで				開拓作業・調理・彫刻工芸・印刷技術・おどり・合唱・合奏を披露する。	
	D-4 友 情 の 広 場	G														全	野宮区広場	有	個人・チーム	野宮区ご とに指示				野宮区ごとのスキル・オ・ラマ・郷土色豊かな芸能発表会、 大規模な交歓の場。	
E	E-1 ★ベンチャーキャンプ	G	●	●	●	●	●	●								SS	場 外	有	個 人	5月31日 まで	¥ 300			冒険1泊ハイキング、約26km、湖畔をめぐる。	
	E-2 ★ベンチャーハイク	G	●	●	●	●	●	●								全	場 外	有	チ ー ム	※	¥ 300			樽前山をこえ湖に出る。約9km登山コース。	
	E-3 レークサイドハイク	G	●	●	●	●	●	●								全	場 外	有	チ ー ム	※	¥ 300			湖畔の自然探検約5km。	
	E-4 ★恵庭岳登山	G	●	●	●	●	●	●								SS	場 外	有	個 人	※	¥ 300			海拔1,319m、日帰り登山、支笏湖・太平洋を眺める。	
	E-5 サイクリングA	G	○													全	場 外	有	チ ー ム	※				約10km・牛・馬・鶏・豚舎をめぐる1時間コース。	
	E-6 ★サイクリングB	G			●	●										SS	場 外	有	個 人	※	¥ 300			約40km 恵庭岳山ろくより湖畔を経て千歳へ至る。3人リレー	
	E-7 オリエンテーリングA	G			○	○										全	場 外	有	チ ー ム	前日まで				一周約3km 5ポイント	
	E-8 ★オリエンテーリングB	G			○	○										SS	場 外	有	チ ー ム	※				一周約3km 7ポイント	
	E-9 クロスカントリーA	G			○	○										全	場 外		チ ー ム	※				一周約1.5km 障害物を走破してすむ。	
	E-10 ★クロスカントリーB	G			○	○										SS	場 外		チ ー ム	※				一周約5km 障害物を走破してすむ。	
	E-11 バノラマトレイル	G			○	○										全	場 外		チ ー ム	当 日				往復約6km 会場とその周辺が展望できる小ハイク。	
F	F-1 シティスウィープ	G	●	●	●	●	●	●								全	札 幌 市	有	チ ー ム(4名)	5月31日 まで	¥ 300			札幌市内かけ歩き、課題ハイキング、地図をたよりに短時間でめぐる。	
	F-2 サブキャンプトレイル	S	○	○	○	○	○	○								全	会場 全域		個 人・チ ー ム	当 日				他の野宮区と県連をまわり催物に参加して行く。	
G	G-1 ジャングルトレイル	G	○	○	○	○	○	○								全	場 内		個 人	※				数ヶ所の障害物を短時間で通過する。	
	G-2 トランポリン	G	○	○	○	○	○	○								全	中央広場		個 人	※				バネ付マットでジャンプや回転運動を試みる。	
	G-3 た こ あ げ	G	○	○	○	○	○	○								全	場 内		個 人	制作のみ 5月31日 材料費	¥ 100			もって来たたこや即席で制作したたこをあげる。	
	G-4 柔 道	G														全	中央広場	有	個 人	前日まで				野外特設会場で紅白に別れて行う。	
	G-5 剣 道	G														全	中央広場	有	個 人	※				野外特設会場で紅白に別れて行う。	
	G-6 す も う	G														全	中央広場	有	個 人	※				野外特設会場で紅白に別れて行う。	
	G-7 ★アーチェリー	G			○	○										SS	場・外	有	個 人	※				基礎練習としてアーチェリーを体験する。	
	G-8 魚 つ り	G	●	●	●	●	●	●								全	場 外	有	個 人	5月31日 まで	¥ 100				清流で釣りの気分を味わう。
	G-9 ベースウォーク	G	○	○	○	○	○	○								全	場 内		個 人	当 日				指定区間を止まらずもどらず所定時間ちょうどで歩く。	
	G-10 バレー・バドミントン	S	○	○	○	○	○	○								全	野宮区広場		チ ー ム	野宮区ご とに指示				予め相手チームをえらび友づくりのゲームをする。	

会期中の「観察旅行」と「スカウト会議」はF群参加として認めることができる。●はバス利用 ★はSS種目 ※は共通
参加認定は種目によりT＝編成隊長、S＝野宮区センター行事係又は県連派遣団行事係、G＝G.H.Q行事係担当者がそれぞれ行う。
※この表は都合により一部変更することがあります。

ローバー便り

浜松15団 RS隊長 原口 芳彦

- (1)地区内ローバへのアンケートについて
長い長い冬眠から目覚めて、今年こそローバー諸君の活動の御手伝いをしたいと念じ、取敢ず下記の様なアンケート調査を致しました。
結果を取纏めましたので御知らせ致します。尚、本アンケートの作製には浜松12団RS隊長三輪悦爾氏の御協力を頂きました。
- (A)現在の隊活動について
満足34% 不満足55% 興味なし11%
- (B)野外活動の時期
春22% 夏77% 秋0% 冬0%
いつでもよい11%
- (C)野外活動の形態
キャンプ77% 旅行33% ヨット33%
登山55% OL11% その他11%
- (D)野外活動の日数
2～5日55% 1週間以上45%
- (E)野外活動の経費

1万円以下の意見大多数
(G)野外活動の地域
県内39% 県外61%
(H)指導者養成講習会について
受講希望 有15% 無85%
尚、合計100%を越す分については1人で多くの希望該当があった為です。

私の感想
結果は素直に受入れる可きですが、今后浜松地区の発展の為に一人でも多くのリーダー養成が望ましいと思います。その意味で指導者養成講習会受講希望15%は誠に心寒い思いです。反省すると共に努力したいと思います。然し乍ら湖西の講習会に浜松1団の齋木君が受講して頂けたのは、せめてもの救いでした。

(2)夏期活動計画の提案
アンケート結果に基き次の様な私案を作ってみました。
ローバー諸君には更に具体的な内容を

印刷物にて御届けします。
49年度ローバー夏期移動キャンプ案
目的 木曾谷11宿と藤村文学の探索
時期 8月10日頃
日数 3～4泊
目下ローバー諸君の活動計画立案の資料を整理中です。(5月21日発送済)
6月5、6日に現地見。関係県連、市町村への御願い等完了する予定です。先輩各位の助言を期待しています。どうぞよろしく御願い申し上げます。
以上の件は本来私が成す可き分野でない事は充分承知しています。然し乍ら放置しておいては浜松地区のローバー対策は何等前進しませんので、地区コミ及び担当副コミの叱責は覚悟の上で今後もどんどん前向きにローバー対策を進めて行き度いと思っています。何もしないで叱られるよりはズーッとましだと思いますので悪しからず。

昭和49年度デン マザー研修会開催

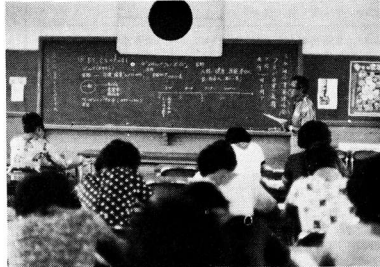
昭和49年度のデンマザー講習会は6月30日各ブロック毎に分かれて研修会が行われ、各リーダーの奉仕に依る講師のもとデンマザーの熱心な研修で有意義な1日を終えた。

ブロック 浜北ブロック

会場 浜松市社教センター

主任講師 外山吉保

参加者 26名、中央(楠会館32)、南部(南小39)、西部(自衛隊35)、地区4カ所132名終了



デンマザー研修会 浜北ブロック

BS第14団カブ隊結成

結成10周年を今年迎ようとしている14団にカブ隊が新しく発隊し、7月28日(日)午後2時より、浜松成子のカトリック教会に於て厳肅に結成式が行われました。

カブスカウト18名、隊長外山房子、副隊長片山ふさ子のメンバーによる新隊員は希望に目が輝いておりました。

育成会長、団委員長の挨拶につづき教会の神父さんの祝福の式を頂き、参加者一同大きな感銘を受けました。

地区からは三輪地区コミ、他役員、友隊スカウト 100余名がお祝いに参列致しました。

14団カブ隊も10年目を迎えたボーイ隊と同じようにスクスク成長し、よいスカウトがドンドン育つよう輝きぐれの教会の坂を下りながらお祈り致しました。

各団のうごき 可美第1団

- 1. 団
 - 4月14日 昭和49年度育成会総会 可美村役場会議室
 - 5月4日・5日 浜松まつり駐車場整理奉仕 中田島会場
 - 5月18日 新役員・団委員・リーダー研修会 西遠荘
- 2. BS隊
 - 4月6日 ちかいの式 若林諏訪神社境内
 - 5月4日～6日 隊野営 〃
内容、オリエンテーリング佐鳴湖畔、基本動作訓練。
- 3. CS隊
 - 4月7日 新入スカウト入隊式 可美村役場
 - 4月21日 隊集会 基本動作訓練 可美小学校講堂
 - 5月26日 舎営とソフトボール大会 高塚地藏院、高塚ランド

うごき

- 3月16日 妻こい視察(ヤマ発) (内田嘉 三輪)
- 〃 登録事務取扱 法林寺
- 18日 班長訓練野営本部会議 法林寺
- 19日 班長訓練野営副食調達 引佐田力(竹村 三輪 八木本)
- 21～24日 浜松地区第9期班長訓練野営 浅川川宇連 117名参加
3泊4日(20日先発6名設営)
- 26日 地区各運営委員長会議 法林寺 新年度各予算検討
- 4月6日 地区コミ 事務長合同会議 静岡産業会館(三輪、牧野)
- 8日 班長訓練野営反省会 法林寺
- 9日 地区コミ関係者会議 法林寺 新年度計画について
- 13日 第6回日本ジャンボリー第1 団隊長打合せ 静岡市中央公民館(井ノ口、三輪)
- 15日 日本ジャンボリー関係打合せ 法林寺(参加費納入等)
- 17日 浜松まつり駐車場部会打合せ 市川重雄事務所
〃 地区コミ関係者懇親会 市川重雄事務所
- 23日 地区野営行事委員会 法林寺 浜松まつり駐車場奉仕について
- 25日 県下3店需品部打合せ(日連需品部長出席) 県連事務局(三輪、内田嘉)
- 27日 浜松地区49年度総会 法林寺
- 30日 講習会(県西部コミ、事務長指養成委員) 打合 法林寺
- 27～30日 カブ8期研修所奉仕(外山柴田)
- 5月3日～5日 浜松風揚まつり駐車場奉仕 中田島砂丘 延 200余名奉仕
- 7日 講習会(BS 170期)本部員打合 法林寺
- 11～13日 BS第170期講習会 湖西礼雲寺(三輪、平野、原口、外山、中島、他奉仕)
- 11日 地区コミ、事務長会議 静岡(名倉、牧野)
- 14日 地区内コミ関係者会議 初顔合せ 市川重雄事務所
- 18～19日 日連全国会議 愛知グリーンホテル 三ヶ根(三輪、内田県コミ)
- 22日 地区財政委員会 法林寺 財政関係各団アンケート及び、日本ジャンボリー関係予算について
- 25日 第6回日本J第2回隊長打合せ 静岡中央公民館(名倉、外山、八木本、井ノ口)
- 〃 県連理事会(内田)静岡
- 26日 地区事務所(児童会館)整理(三輪、牧野他)

- 28日 カブリーダー会 法林寺 DC、DM研修会について
- 29日 市キャンプ講習会打合せ 体育保健課(内田、三輪他)
- 〃 西部ブロックリーダー会(住吉、中島宅)
- 6月2日 県連総会 静岡南部公民館
- 3日 6団BS入隊式 東田町公民館、カブリーダー会 法林寺(DC・研修会等)
- 4日 地区内コミ関係者会議(実修所入所のねらい研修会、DC・DM研修会等)
- 5日 西部ブロック、カブリーダー会
- 9日 DC研修会 青少年の家(101名参加)
- 12日 西部ブロックリーダー会(中嶋宅)
- 15日 コミ・事務長会議 県民会館 四号
- 16日 県連派遣奉仕員打合せ(静岡)
- 18日 市キャンプ講習講議 市体育館
- 19日 派遣隊リーダー集会 法林寺(日本J奉仕について)

原稿募集

第57号 メ切り9月末日

日本ジャンボリー参加者の記録、エピソード、思い出等の御投稿をお願いします。

あとがき

- 準備で忙殺され、終るまで安心することの出来なかった日本ジャンボリーも全員無事故で帰浜し、元気なスカウトの顔を見て、ヤレヤレは残ったものの卒直な気持。
- 日本ジャンボリー関係の記事をもっと満載したかったけれども、残暑見舞をのせている関係もあって速報のみとした。
- 次号は別稿の募集にもあるような内容にしたいので関係者の積極的な記事写真の投稿を御願いたい。
- アメリカではニクソン辞任、フォード新大統領誕生す。世に人の移り変りはあれどスカウトの国際親善、友好はますます深めて行きたいものだ。
(T・S生)

発行所

第56号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所
 浜松市利町70-4 児童会館内
 TEL 54-0178
 編集発行責任者 杉山友男
 昭和49年8月25日発行